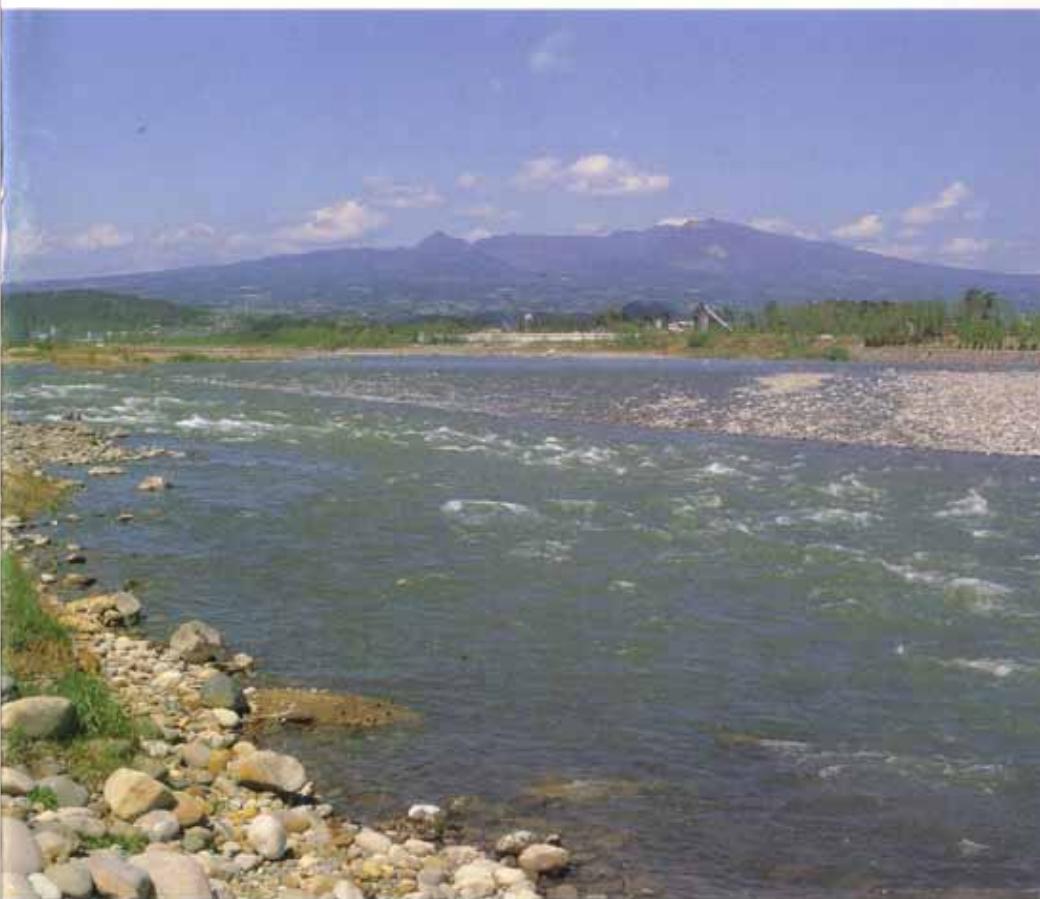


自然をさがしにいこう...



前橋の自然 ガイドブック

前橋市

前橋市にはまだ自然がいっぱい残っています。
あなたの身近な場所にも自然是そっと息づいています。
さあ！あなたも自然をさがしに行きましょう。



もくじ

まえがき	1
自然の中の生き物	2
観察・学習のポイント	2
観察・学習の安全とマナー	4
自然観察の方法	5
前橋市の貴重な生き物たち	6
前橋市の自然の状況	8
清里・総社地区	10
元総社・東地区	12
南橘地区	14
芳賀地区	16
本庁地区	18
上川淵・下川淵地区	20
桂萱・永明・城南地区	22
水辺の景観	24

まえがき



前橋市を「水と緑と詩のまち」と私たち市民は呼んでいます。

前橋市の面積は約147km²で、田畠が約40%、住宅地が約30%と多く、林はあまり多くありません。それでも探してみると、まだまだ多くの生き物が身近にいることがわかります。調査では植物が480種、鳥は89種、昆虫も400種以上います。

みんなで近くの田んぼや畑、公園、林、池や川にいってみましょう。いろんな生き物が住んでいることが、わかります。ビルが多い町の中にも、探すと生き物はたくさんいます。

前橋市のどこにどんな生き物がいるのか、それを知る手がかりが、この本の中になります。この本では、前橋市を7つの地区に分け、それぞれの地区的自然がどのようなものであるか、どんな生き物がくらしているのか、解説しています。

みなさんの住んでいる地区で生き物を観察するとき、どこに行けばよいのか、この本を見ればわかると思います。

また、みなさんの住んでいる地区的自然がどのようなものであるかを、知ることもできます。

生き物の写真もできるかぎりのせましたが、もっとくわしくりたい人は、いろいろな図鑑で調べてみるとよいでしょう。

「観察・学習のポイント」と「観察・学習の安全とマナー」をよく読んで、わかつたら、さあ、みんなで探検にでかけてみましょう！



自然の中の生き物 観察・学習のポイント

1 生き物には、同じ仲間でもたくさんの種類があります。サクラを例にしてみましょう。

学校や公園・神社・お寺などの庭によく見られるのがソメイヨシノです。このサクラの開花予想をする標準木は、前橋地方気象台の庭にあります。

敷島公園付近に、前橋で早く花の咲く（3月初め頃）カワズザクラがあります。また、嶺公園・荻窪公園付近にヤマザクラがあります。

前橋こども公園には早咲きのカンヒザクラ、桜もちに葉を使うオオシマザクラ、花が桜湯に使われるカンザン、緑色の花のギヨイコウ、それにエドヒガン、コヒガン、シダレヨシノ、フナバラヨシなどたくさんあります。



カンヒザクラ



オオシマザクラ



カンザン



ギヨイコウ

このようにサクラにもたくさんの種類があります。花や葉などをよく観察してみると、少しづつそのちがいが見えてきます。

2 同じ種類の生き物でも古くから住んでいたものと、後から外国から来て住みついたものがいます。タンポポを例にしてみましょう。

荻窪公園付近には日本のタンポポのカントウタンポポ・エゾタンポポ・シロバナタンポポ（近年西日本から移ってきた種類）がたくさんみられます。

皆さんの地域ではどうでしょう。日本タンポポに対して外国から来たセイヨウタンポポがどのように住みついでいるでしょうか。

日本タンポポで見た自然度を確かめてみましょう。



カントウタンポポ



エゾタンポポ



シロバナタンポポ



セイヨウタンポポ

3 食べる食べられるの関係で生き物がつながっています。“モズの早にえ”を例にしてみましょう。

モズは秋から冬にかけて前橋市などの平野部にわたってきます。そこでこん虫・カエル・カナヘビなどの小動物を食べますが、時にはとけ状の所へさして“早にえ”をつくります。

ふだん見えづらい夜行性や土中の小動物が“早にえ”になっていて、このような小動物も住んでいたのだと発見できることもあります。



モズ（オス）



マイマイカブリ（幼虫）



アマガエル

▲“モズの早にえ”となつた小動物

しぜん 自然の中の生き物

かんさつ がくしゅう 観察・学習の安全とマナー

1. 自然の中のおそろしさ・危険も知っておこう。

大切な自然！ すばらしい自然！ でも、そこには危険もあります。安全第一で、楽しく自然の観察・学習ができなければなりません。そこで、野外に出る時の注意としては、

- ①自分ひとりで遠くまで行かないこと。近い所でなければ必ずおとなに行こう。
- ②危険な所へは近づかないこと。ガケ・あな・流れの早い川・川や沼の深みなど。
- ③有毒植物に注意すること。さわるとかぶれる植物・アレルギーをおこす花粉（ウルシ・ハゼノキ・オオブタクサ・スキ・毒キノコ・トリカブト・ヒヨドリジョウゴなど）。
- ④有毒動物に注意すること。（アブ・ブヨ・カ・ドクガ・イラガ・アシナガバチ・スズメバチ・ダニ・マムシ・ヤマカガシなど。）
- ⑤そこで大切なことは、野外観察の安全はまず服装からです。
ぼうし・長そでシャツ・長ズボン・はきなれたクツ（時には長グツも必要になります。）

2. 自然観察・学習の時のマナーが守れない人は、その資格はありません。

- ①自然（野生）の生き物は、大切なタカラです！ 貴重な命です！
むやみに採集をしてはいけません。
(心の中に、スケッチに、または写真に残しましょう。)
- ②自然是、生き物たちの生活の場所なのです。ソッと、静かに、見させてもらうのです。まして、ふみ荒らしてはいけません。
- ③自然といっても、多くは他人の土地です。関係者にことわって入ることも必要になります。
- ④自分たちで自然を汚してはいけません。ごみは必ず持ち帰りましょう。

しぜん 自然の中の生き物

しぜんかんさつ ほうほう 自然観察の方法

1. 道具にこだわらず、散歩で見えるものから始めましょう。
2. 1つの風景からいろいろなものをみましょう。
3. 風景や鳥、植物などを絵にかいてみましょう。
4. とらないで注意深く観察してみましょう。
5. できれば鳥や植物の花、葉の形（特徴）を絵に書いておきましょう。
6. 河原、田んぼ、畑の土の上には、いろいろな動物の足あとが残っています。注意して見てみましょう。
みつけたら絵にかいておきましょう。
7. 鳥、カエルや昆虫の鳴き声を注意して聞いてみましょう。
8. 観察しながら気づいたことはメモしておきましょう。
9. いろいろなものを疑問に思いましょう。



前橋市の貴重な生き物たち



お葉つきイチョウ

生物ただ一つの天然記念物。生きている化石、「先祖がえり」の姿。



マツグミ

マツに寄生する。長さは20~50cm。県内でも珍しい。



バイカモ

浅くてきれいな流水にはえる。茎の長さは1~2m。少ない植物。



オオタカ

全長50cm。頭から尾まで上面は灰黒色、下面是白色、鳥をとらえる。



カワセミ

全長17cm。ひすい色の上面と橙色の下面を持つ美しい鳥。小魚をとらえる。



タヌキ

体長50~60cm。住宅地から山にかけてすむ。おもに小動物を食べる。(雑食性)



ソメイヨシノ

前橋地方気象台の庭に2代目があり、開花を予想する標準木。



ミゾコウジュ

湿ったところにはえる。茎の長さは30~80cm。5~6月に花がさく。



ミクリ

川、池にはえる。茎の長さは0.7~1m。実がくりのいがのよう。



ヤモリ

全長10cm。指先に吸盤。内陸の市街地にいるのは大変珍しい。



イモリ

全長10cm。上面は黒かつ色、下面是赤い。きれいな水を好む。



アオハダトンボ

オスの腹長41~48mm。頭・胸部が金属光沢の緑色をしている。幼虫は清流に住む。



ヤマユリ

山や丘にはえる。茎の長さは1~1.5m。7~8月に花がさく。



キンラン

林のなかにはえる。茎の長さは50cm。5月に黄色い小さな花がさく。



オオバノトンボソウ

林のなかにはえる。茎の長さは25~50cm。6~7月に花がさく。



ヒガシカワトンボ

体長6cm。写真はおすの橙色型で透明型もいる。幼虫は清流に住む。



ハルゼミ

オスの体長は26~32mm。マツ林に多く、4~6月に鳴く。



スナヤツメ

体長15cm。目の後ろの方に7つのえらあな。砂底の清流を好む。

前橋市の自然の状況

市の地形

市のまん中は低地で、西側はこれより少し高いローム台地、東側は山麓地や扇状地になっています。

■前橋市の中の自然

林

北の方の桶山や芳賀地区の森公園周辺などには大きな林があって、タヌキやウサギが住んでいます。アカマツの林では春にハルゼミが鳴きます。



田んぼや畑

畑にはヨモギやナズナなどが生えていて、春はヒバリがさえずり、夏はツバメが飛んでいます。一方、水田には水辺の生き物がいて、オモダカやコナギなどの草や、コサギ、カルガモなどの鳥たちが見られます。

お寺や神社の林

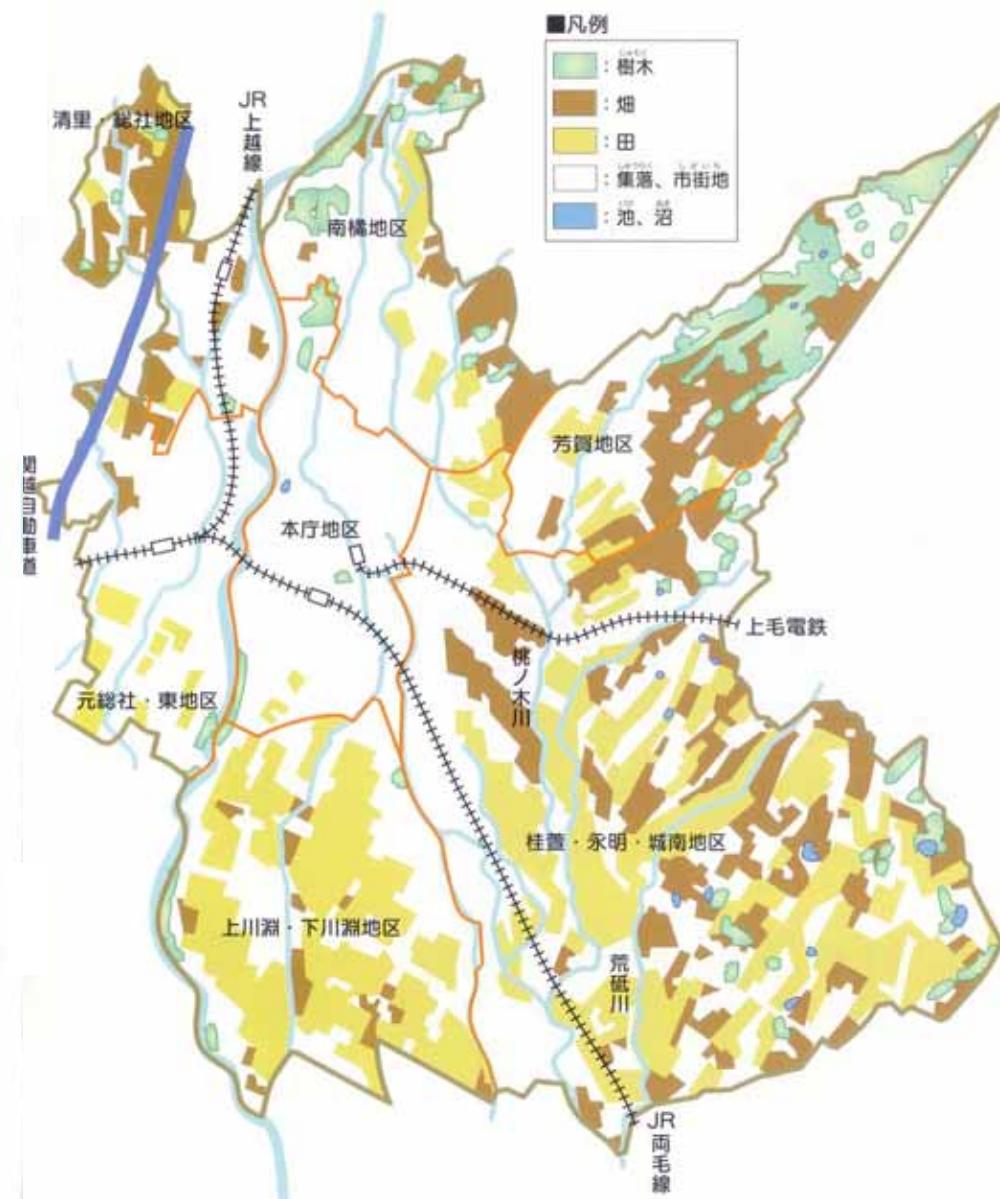
町の中のお寺や神社にある小さな林も生き物の生活の場所として大切です。林が小さいので種類は少ないですが、ツクツクボウシやアブラゼミなどのセミ、アオスジアゲハやナミアゲハなどのチョウがいます。

川や水路

市内には利根川と広瀬川、桃ノ木川の3本の大きな川のほかに、藤沢川や寺沢川などの小さな川や水路があって、きれいな水にはホトケドジョウやシマドジョウ、ややよごれた水にはモツゴやギンブナなどいろいろな魚が住んでいます。また、トンボの仲間や鳥もたくさん見られます。

その他

市内には、さちの池、五料沼、大堤沼など、たくさんの池があります。そこでは、水鳥や魚が生活し、ツルヨシ、ガマなどの水辺の草があります。また、住宅地ではヤマトシジミなどのチョウも生活しています。





前橋の自然

清里・総社地区

地区的西側は田畠が多く、東側は住宅地になっています。

田んぼや畑や林には身近な自然が残っています。

利根川にはコハクチョウ、カワセミ、ダイサギなどの鳥がいます。また川の近くの池にはイモリもいます。八幡川や天狗岩用水には水辺の生き物はあまり多くいるとは言えませんが、きれいな水に住むホトケドジョウが、八幡川にいます。

みんなで、どんな生き物がいるか、探してみよう。



① ホトケドジョウ



② アキアカネ



③ ミヅソバ



④ チョウケンボウ



⑤ ヘビイチゴ



⑥ ホツヘルヒメムシ



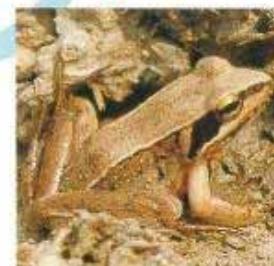
⑦ ニセアカシア



⑧ コハクチョウ



⑨ マガ



⑩ ニホンアカガエル



⑪ イモリ



前橋の自然

元総社・東地区

大部分は市街地ですが、田んぼや畠も少し残っています。林は小さく、川沿いや屋敷のまわり、寺や神社のまわりに散らばっています。

田んぼや畠にはまだまだ生き物がいっぱいいます。

市街地は緑が少なく、生き物は多くありません。

それでも屋敷や寺・神社の周りの林では夏はアブラゼミやツクツクボウシなどのセミの声が聞かれ、アオスジアゲハも飛んでいます。

滻川にはきれいな川に住むスナヤツメやホトケドジョウがいます。

君はどれだけ見つけられるかな。



① カナヘビ



⑤ シロツメクサ



② ギンブナ



③ スナヤツメ



④ ススメノテッポウ



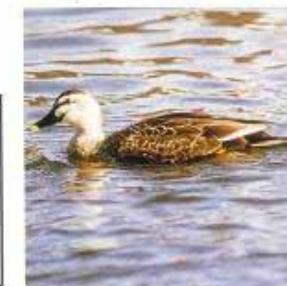
⑥ コサギ



⑦ オンブハッタ



⑧ アブラゼミ



⑨ カルガモ

前橋の自然

なんきつ 南橘地区



桃ノ木川より西側は住宅地が多く、東側は田んぼや畑が多く残っています。林や田畠がまとまって残っているので、生き物はいっぱいいます。

橋山のまわりにはノウサギ、イタチ、タヌキなどいろいろな生き物がいます。

桃ノ木川には、花がウメに似ているバイカモ（梅花藻）が川の中に生えています。

敷島公園付近で、全国的に珍しくなってきたミクリがあります。

場所によってはきれいな川に住むアオハダトンボも見られ、夏にはゲンジボタルも飛びます。

君もいろいろさがしてみよう。



■凡例
■: 樹林
■: 集落、市街地
■: 田、畑
●: 生物位置
●: 水辺の景観 (25ページ)



前橋の自然

芳賀地区

赤城山のふもとで、水田や畑が多くあります。また、嶺公園の周辺から北側には、アカマツ林を中心とした林も、広がっています。

林や田畠、川、沼などが多くあるので、たくさんの種類の生き物が暮らしています。特に嶺公園とその周りには、林がまとまってあり、生き物の多い場所です。市内では珍しいヤマアカガエルもここで見られます。また、ヒガシカワトンボをはじめとするトンボも多く、マツ林にはハルゼミがいます。

いろいろな生き物が、君を待っているよ。会いに行ってみよう。



前橋の自然

本庁地区

大部分は市街地で、前橋公園、県庁、利根川の崖、敷島公園に林があります。市街地ということで全体的に緑は少ないのでですが、探すといろいろな生き物が見つかります。

県庁の北側の土手では春先にアマナの花が見られます。また、敷島公園のマツ林には、マツの木に寄生するマツグミがあります。利根川では、最近全国的に少なくなっているコアジサシも見られます。古い家には、ヤモリが住んでいます。

みんなも思わぬ自然を探してみましょう。



① コイ



④ キジバト



⑥ ヒヨドリ



② コアジサシ



⑤ ヨモギ



⑦ ハクセキレイ



③ ヤモリ



⑧ 樹林



⑧ アカマツ



⑨ マツグミ



⑩ オオイヌノフグリ



⑪ ヤマトシジミ



⑫ アオスジアゲハ

前橋の自然

上川淵・下川淵地区

大部分は田んぼや畑ですが、東部の利根川沿いは住宅地です。林は利根川沿いにまとまってあります。

この地区では、主に草原や田んぼや畑で見られる生き物が暮らしています。

利根川には、アユやウグイなど魚が多くいます。

端気川や広瀬川はコンクリートで護岸されているため、生き物は多くありません。

田んぼや畑にはどんな生きものがいるかな？



① ツルヨシ



② アズマヒキガエル



③ ハハコグサ



④ カラスノエンドウ



⑤ ギンイチモンジセセリ



⑥ キアゲハ



⑦ オイカワ



⑧ アユ



⑨ ツバメ



⑩ ムナグロ



⑪ トビ

前橋の自然

桂萱・永明・城南地区

大部分は田んぼや畑ですが、大室公園などのまわりには林があります。
寺沢川、荒砥川、桃ノ木川などの川のほか、乾谷沼や五科沼のような溜池
があります。

このように、いろいろな環境があるので、多くの生き物がいます。
特に大室公園のまわりは生き物の多い所です。
天然記念物のお葉つきイチョウの木は、大室神社の庭にあります。
桃ノ木川では川の中にバイカモ（梅花藻）が見られます。

君は何を見つけたかな？



① カタバミ

② カントウタンボポ

③ ウグイ



④ レンゲ

⑤ ベニシジミ

⑥ トウキョウダルマカエル

⑦ ナツアカネ



⑧ ウキゴリ

⑨ キジ

⑩ ホオジロ



桂萱
永明
城南



⑪ コバネイナゴ



⑫ ミゾコウジュ



⑬ ツチガエル



⑭ おはづきイチョウ

前橋の自然

みずべ けいかん 水辺の景観

■清里・総社地区.① (P11)



河川名 八幡川／夏 地点 若美橋付近



河川名 八幡川／春 地点 若美橋付近

■清里・総社地区.② (P11)



河川名 天狗岩用水／夏 地点 立石橋付近



河川名 天狗岩用水／春 地点 立石橋付近

■元総社・東地区.① (P13)



河川名 热谷川／夏 地点 若葉橋付近



河川名 热谷川／秋 地点 若葉橋付近

■元総社・東地区.② (P13)



河川名 要川／冬 地点 橋越橋付近



河川名 要川／春 地点 橋越橋付近

■南橋地区.① (P15)



河川名 中沢川／夏 地点 大正用水交差前



河川名 中沢川／秋 地点 大正用水交差前

■南橋地区.② (P15)



河川名 赤城白川／冬 地点 細井新橋付近



河川名 赤城白川／春 地点 細井新橋付近

■芳賀地区.① (P17)



河川名 大堤沼／夏 地点 芳賀公園



河川名 大堤沼／冬 地点 芳賀公園

■芳賀地区.② (P16)



河川名 鶴沢川／夏 地点 新桂橋付近



河川名 鶴沢川／冬 地点 新桂橋付近

■本庁地区.① (P19)

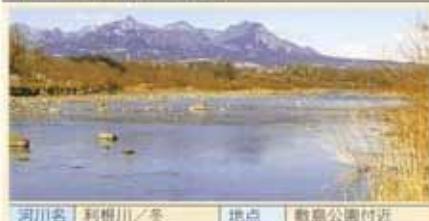


河川名 さちの池／秋 地点 前橋公園



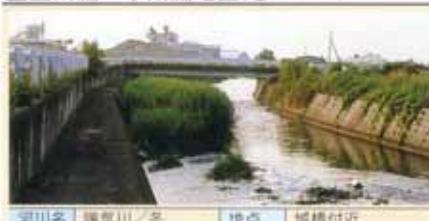
河川名 さちの池／冬 地点 前橋公園

■本庁地区.② (P19)

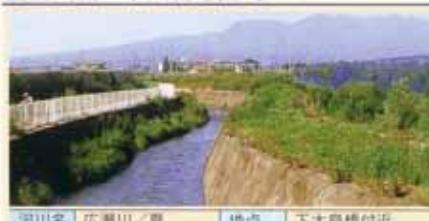


()内のページを見て位置を調べてみよう!

■上川淵・下川淵地区.① (P21)



■上川淵・下川淵地区.② (P21)



■上川淵・下川淵地区.③ (P21)



■桂萱・永明・城南地区.① (P23)



■桂萱・永明・城南地区.② (P23)



■桂萱・永明・城南地区.③ (P23)



■桂萱・永明・城南地区.④ (P23)



みなさんのまわりにも、
生き物がいっぱいいることが分かりましたか。
いっぱいいる生き物も、林が無くなったり、
田んぼや畑が無くなったりして、だんだんと生活する場所が無くなり、
数が減ってきています。
生き物を守るためにはどうしたらいいでしょうか。
生き物をよく観察して、みんなも考えてみましょう。
観察したことは、なるべく早くノートにメモしたり、
スケッチをしましょう。



みなさんがみつけた生き物を書いておきましょう

メモ

終わりに、このガイドブックの作成にあたり、貴重なご意見、ご指導及び写真などを提供していただいた、前橋市自然環境基礎調査推進委員の先生方に厚くお礼申し上げます。

また、快く魚類の写真提供をしていただきました水産試験場の皆様に感謝の意を表します。

前橋市自然環境基礎調査推進委員（敬称略）

栗林	夏樹	(委員長)
片山	満秋	(副委員長)
金井	賢一郎	(委員)
木村	誠	(委員)
小池	啓一	(委員)
篠原	豊	(委員)
長沼	利明	(委員)

この冊子の作成にあたりましては、前橋ベンチャークラブ認証10周年記念事業としてご寄付をいただき活用させていただきました。



前橋の自然 ガイドブック

平成11年3月 第1版発行

平成11年11月 第2版発行

発行 前橋市生活環境部環境課

〒371-8601 前橋市大手町二丁目12番1号

この冊子は古紙配合率80%再生紙を使用しています。

